

研究課題名「膵頭十二指腸切除術後における外瘻膵液持続陰圧吸引の有用性に関する研究」に関する情報公開

1. 研究の対象

2013 年 7 月 1 日から 2016 年 11 月 30 日までに当院消化器外科 1 にて膵頭十二指腸切除術をうけられた方。

2. 研究目的・方法・研究期間

膵頭十二指腸切除術後には膵液漏が高率に発生します。この膵液瘻を予防するために、残った膵臓の膵管にチューブを挿入して、術後しばらくの間外瘻（チューブを対外に誘導してバッグに排液する）とします。本研究の目的は、この外瘻としたチューブを持続吸引し、より効率的に膵液が排出されるようにすることで、膵液漏発生率が低下するかどうかを検討することです。

具体的には、2013 年 7 月 1 日から 2015 年 5 月 31 日までに手術を行った持続吸引を行っていない患者さんと、それ以降に手術を行った持続吸引を行った患者さんの術後の経過を診療録に記録されている情報をもとに比較します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

病歴、手術内容、術中所見、術後経過、検体結果（採血、ドレーン排液生化学）等。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 消化器外科一 〒466-8550 名古屋市昭和区鶴舞町 65

担当：横山幸浩（研究責任者）